

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			規程に基づいて対応できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			利用人数に応じて職員配置を行っており、その時に応じて増員の対応もしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		賃貸物件のため、修繕はできない。常に職員が目を配り、必要と思われる箇所は可能な限り補修している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的ミーティングを実施し、職員間で意見交換・改善に向けて情報共有を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一回のアンケートにて保護者の意見や要望をミーティングにて検討し、改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	準備中のため、近日公開する予定である。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所に必要とされる研修は出席している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		返答がない保護者の方もいるため、全ての子どもや保護者のニーズをくみ取れていない。出来る限り保護者と話す時間を作り、今後の支援計画に反映させていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	現在検討している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全員で立案を立てることができていないため、利用者に合わせて活動を提供できるよう検討していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化しないよう、毎日違う取り組みを利用者にも視覚的に分かりやすい掲示をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			その日の人数やメンバーに対応し、出来る限りの支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況に応じて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		それぞれ確認をしているが、支援の前の打ち合わせ時間を設け統一した支援が行なえるようにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		記録での情報共有はできているが、今後は時間を設けることで変化や支援の見直し・改善に向けて取り組んでいく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録は必ず記載している。検討が必要な場合は、ミーティングにて支援の見直し・改善を検討している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に行えている。今後もより良い支援を提供するため継続していく。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか			○	現在地域との交流の機会が持てていないため、今後の課題として取り組んでいく。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加することで、支援の現状やその他の様子や課題等情報共有ができています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		保護者との連絡や情報共有はできている。学校との行事予定の交換はしていないため学校との連携も密にしていきたい。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	医療的ケアが必要となる児童の受け入れはしていない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				○	相談専門員との情報共有のみのため、必要に応じて連携していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				○	現在は移行例がないが、今後に向けて十分な情報を提供できるようにしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				会議や研修に参加し、助言をいただくことで支援に反映できている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				○	現在は機会がないため、今後の課題として取り組んでいく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				○	できていないため、今後情報収集をしながら参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				連絡ノートにて様子を伝えたり、全員ではないが支援会議の場を設けてもらうことで現状の確認・今後の支援の統一ができています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○	相談があれば助言をしているが、ごくわずかである。状況に応じて専門員に相談し、改善していけるようにしていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約時に書面と説明を必ず行い、不明な点等あれば随時お伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				保護者より相談があれば随時対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			年に一度の頻度で開催しているが、定期的な開催を増やしていけるようにしていく。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口を設けており、連絡等あれば迅速な対応を心がけている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		行事予定については毎月発行している。会報については不定期ではあるが発行しているため、定期的に行えるようにしていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			今後も情報の管理を徹底していく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚支援や分かりやすい文章等の連絡、相談員を通してのやりとりを行うなど対応を心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		毎年ではないが、不定期に行っている。内容等を検討しながら、今後地域との連携を密にしていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		作成はしているが、保護者への周知が十分にできていないため随時説明・連絡できるようにしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		年に一回行っているが、利用者全員での訓練はできていないため、回数を増やすなど対応していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員全員で研修への参加もしている。今後も随時参加していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		説明については契約時に書面と口頭にて伝え、認印ももらうことで了解は得ているが、支援計画への記載はしていないため、今後検討していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	—	アレルギーの利用者はおらず、医師との連携も充分ではない。保護者との情報共有は出来ている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	未然に事故を防ぐためにも、事故報告書だけではなくヒヤリハットを取り入れる必要がある。